

眺望空間保全区域の認定申請について

認定申請時に必要な図書（A4綴）

第2号様式 認定・変更認定申請書 2部（正・副）

次の書類を正・副に各1部添付する必要があります。

① 委任状

② 附近見取図 縮尺 2,500分の1以上※1

- ・ 建築物の敷地の位置及び当該敷地の周囲の状況を表示する図面（道路及び目標となる地物並びに隣接する土地における建築物の位置を明示したもの）
- ・ 標高の確認を行った敷地付近の京都市公共基準点、補助点又は街区点の位置、X、Y座標及び標高を記入※2

※1 都市計画地図は、情報公開コーナー（本庁西館1階）にてコピー（有料）することができます。

※2 市街地景観課及び風致保全課に設置しているパソコン等でご確認ください。

③ 配置図 縮尺 100分の1以上

- ・ 当該敷地内における建築物の位置を表示する図面（申請に係る建築物と他の建築物との別、外構計画（門、塀、生垣等を含む）、土地の高低及び敷地の接道位置を明示したもの）
- ・ BMの位置、設計GLと標高の関係を記入（例：BM+150＝設計GL＝標高65.66m）
- ・ 盛土の有無を記入（盛土がない場合にあっては、「盛土なし」と記入）
- ・ 標高の確認を行った点の位置を記入（点のX、Y座標及び標高を記入）

④ 各階平面図 縮尺 100分の1以上

- ・ 屋根伏図を含む
- ・ 設備機器（室外機、給湯器等）の位置を表記（文言表記も可）

⑤ 着色立面図 縮尺 100分の1以上 4面

- ・ 設計GL及び高さについて標高値も記入
- ・ 標高の確認を行った点の位置を記入（点のX、Y座標及び標高を記入）

⑥ 断面図 縮尺 100分の1以上 2面

- ・ 建築物の長辺、短辺の内容がわかる図面

⑦ 当該敷地及び当該敷地の周辺の状況を示すカラー写真

⑧ 眺望景観保全区域図 <参考図1>

- ・ 計画敷地の位置を記入
- ・ 計画敷地と視対象をそれぞれ直線で結び影響範囲を明示
- ・ 眺望景観保全区域図は、風致保全課のホームページからダウンロードすることができます。
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000123687.html>)

⑨ 標高規制値計算表 <参考図2>

- ・ 窓口又は風致保全課のホームページからダウンロードすることができます。
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000133613.html>)
- ・ 市街地景観課及び風致保全課のパソコンで表示された標高規制値計算表の数値を記入してください。